

平成25年度版

商工労働観光概要

網走市経済部商工労働課・観光部観光課

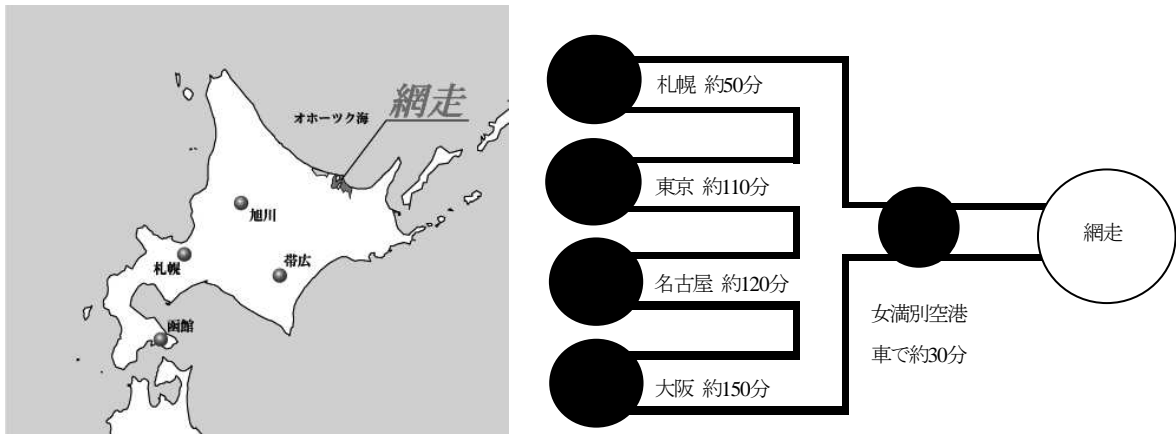
目 次

1. 網走市の概況	1
2. 商工業	
(1) 卸売業の概況	3
(2) 小売業の概況	3
(3) 大型店出店状況	4
(4) 製造業の概況	5
(5) 能取工業団地	6
(6) 呼人工業団地	7
(7) 中小企業振興条例に基づく助成	8
(8) 中小企業者等人材育成事業	8
(9) 中小企業振興条例による融資状況	9
(10) 融資制度	10
(11) 網走市中小企業振興資金に係る保証料補給制度	12
(12) 新製品等プロモーション支援事業	12
(13) 事業化等スタートアップ支援事業	13
(14) 新製品創出支援事業	13
(15) ものづくりフォローアップ事業	14
(16) 新製品等市民サポーター制度事業	14
(17) 網走市商店街空き店舗活用事業補助制度	15
(18) 網走市起業化支援事業補助制度	15
(19) 物産事業の概要	16
(20) 網走市企業立地促進条例	17
(21) 企業立地状況	18
3. 労政	
(1) 労働行政の概要	19
(2) 中学・高校卒業者の進路状況	21
(3) 網走市シルバー人材センターの概要	22
(4) 網走市季節労働者生活資金貸付制度	23
(5) 網走市中小企業勤労者生活資金貸付制度	23
(6) 網走市の労働福祉施設	24
4. 観光	
(1) 観光客入込み数及び宿泊、日帰り客概況	25
(2) 観光・文化・レジャー施設入場者概況	28
(3) 自然公園利用概況	29
(4) 行催事別入込み概況	29
(5) 観光産業消費額概況	29
(6) 行催事状況	30
(7) 観光・文化・レジャー施設	32

網 走 市 の 概 況

- 位 置
- 面 積
- 沿 革
- 気 候
- 人 口 の 推 移
- 産 業 別 人 口

1. 網走市の概況



●位置

網走市は北海道オホーツク管内の東部、東経144度14分、北緯44度02分に位置しています。

●面積・周囲

471 k m²、151, 092m

●沿革

網走地方における人類の生活が始まったのは、およそ2万年前頃からであり、今に残る豊富な遺跡がそれを証明しています。

明治5年、北見国網走郡の呼称が定まり「網走村」の名が与えられました。北見4郡(斜里・網走・常呂・紋別)の中心地として開拓使根室支庁網走出張所の所在地となり、明治30年その管轄区域をもって網走支庁が設置されました。

明治20年代には釧路道路(網走～釧路)、中央道路(網走～旭川)が開通し、大正8年には築港工事が開始され、さらに大正・昭和年代には網走本線・釧網線・湧網線の鉄道が開通するなど、陸海交通の要衝として発展しました。また、オホーツク海の漁場を擁する水産業をはじめとして農林・畜産の各産業、及びそれらの加工業が興り、それに伴って各官公庁や事業所が集中し、文化施設も着々と整備されるに至って昭和22年2月11日をもって市制を施行しました。

その後、交通基盤の拡充による交流の活発化と積極的な都市施設の整備などを進め、平成6年には近隣4市町とともに「オホーツク北網地方拠点都市地域」に指定されるなど、オホーツク圏における中核都市として発展を続けています。

現在は、地域の主体的な発想と実践により、豊かさ、住み良さ、健康、活力、美しさ等の新たな地域の価値を創造し、人と自然が調和する個性的な都市づくりを目指しています。

●気象

網走市はオホーツク海に面した海洋性気候となっています。一般に夏の季節風は弱く、まれに台風が接近しても本州でみられるような被害はほとんどありません。また、年間降水量・降雪量は道内の中でも少なく、冬の寒気も海流の影響があって内陸部に比べると和らいでいます。

沿岸地帯では毎年1月頃から流氷が到来し、最盛期にはオホーツク海を埋め尽くしますが、流氷は冬の網走の魅力として多くの観光客が訪れます。

人口の推移

年次	世帯数	人口総数	男	女	備考
大正14年	4,510	24,486	12,859	11,627	・第2回 国勢調査
昭和5年	4,684	26,946	14,228	12,718	・第3回 国勢調査
10年	5,375	31,668	16,945	14,723	・第4回 国勢調査
15年	5,472	32,732	17,082	15,650	・第5回 国勢調査
22年	6,173	34,850	18,143	16,707	・第6回 国勢調査
25年	6,726	39,218	20,512	18,706	・第7回 国勢調査
30年	7,764	42,961	22,369	20,594	・第8回 国勢調査
35年	9,263	44,052	22,638	21,414	・第9回 国勢調査
40年	10,678	44,195	22,328	21,867	・第10回 国勢調査
45年	12,124	43,904	21,700	22,204	・第11回 国勢調査
50年	13,203	43,825	21,699	22,126	・第12回 国勢調査
55年	14,781	44,777	22,076	22,701	・第13回 国勢調査
60年	14,810	44,285	21,838	22,447	・第14回 国勢調査
平成2年	15,838	44,416	22,021	22,395	・第15回 国勢調査
7年	17,465	44,177	22,282	21,895	・第16回 国勢調査
12年	18,012	43,395	21,787	21,008	・第17回 国勢調査
17年	17,982	42,045	21,204	20,841	・第18回 国勢調査
22年	18,112	40,998	20,981	20,017	・第19回 国勢調査
23年	18,258	38,734	19,059	19,675	3月31日 現在住民基本台帳人口
24年	18,121	38,162	18,746	19,416	3月31日 現在住民基本台帳人口
25年	18,223	37,880	18,511	19,369	3月31日 現在住民基本台帳人口

※平成24年7月9日、住民基本台帳法改正により外国人が住民基本台帳に含まれることになりました。

産業別人口

区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年
総数	21,202	21,855	22,393	21,834	20,092	18,703
第1次産業	3,142	2,889	2,439	2,392	2,228	2,136
農業	1,970	1,830	1,514	1,563	1,440	1,394
林業	114	69	50	46	38	34
漁業	1,058	990	875	783	750	708
第2次産業	4,504	4,710	5,140	4,937	3,800	3,111
鉱業	18	35	17	9	5	—
建設業	2,359	2,562	2,868	2,706	2,017	1,574
製造業	2,127	2,113	2,255	2,222	1,778	1,537
第3次産業	13,530	14,251	14,793	14,446	13,763	12,659
電気・ガス・熱供給・水道業	97	87	96	82	53	55
運輸・通信業	1,384	1,350	1,335	1,271	1,051	1,006
卸売・小売業・飲食店・宿泊業	4,432	4,507	4,515	4,251	4,464	3,929
金融・保険業	612	596	575	470	438	344
不動産業	54	70	83	80	112	184
サービス業	5,386	6,009	6,500	6,698	6,169	5,549
公務	1,565	1,632	1,689	1,594	1,476	1,592
分類不能	26	5	21	59	301	797

※平成7年まで宿泊業はサービス業に含まれます。

資料・国勢調査

商 工 業

2. 商 工 業

(1) 卸売業の概況

平成21年の統計によると、市内における卸売業の商店数は、前回の調査に比べて11店(13.1%)増加し、95店となっています。

従業者数は671人と、前回調査に比べ119人(21.6%)増加しています。

卸売業商店数・従業者数・年間商品販売額

(単位：店・人・万円・%)

区分 業種	商 店 数				従 業 者 数				年 間 商 品 販 売 額		
	16	19	21	前回比	16	19	21	前回比	16	19	前回比
合 計	89	84	95	113.1	665	552	671	121.6	3,285,167	2,864,312	87.2

資料・平成16,19年商業統計調査
平成21年経済センサス-基礎調査

(2) 小売業の概況

平成21年調査の市内小売業の商店数は、前回調査の416店舗から384店舗と32店舗(7.7%)の減少となりました。

小売業全体のうち、飲食料品小売業の占める割合が全体の33.6%と最も多く、次いで織物・衣服・身のまわり品、家具・什器・家庭用機器となっています。

従業員数は、2,801人と前回調査よりも129人(4.4%)減少しています。このうち飲食料品小売業の従業員数が1,220人と全体の43.6%を占めています。

小売業商店数・従業者数・年間商品販売額

(単位：店・人・万円・%)

区分 業種	商 店 数				従 業 者 数				年 間 商 品 販 売 額			
	16	19	21	前回比	16	19	21	前回比	16	19	前回比	
合 計	424	416	384	92.3	3,019	2,930	2,801	95.6	5,154,642	5,049,739	98.0	
内 訳	飲食料品	153	147	129	87.8	1,359	1,341	1,220	91.0	2,082,814	1,900,383	91.2
	織物・衣服・身のまわり品	51	50	50	100.0	203	249	219	88.0	341,198	293,845	86.1
	家具・什器 家庭用機器	44	39	55	141.0	193	128	344	268.8	405,478	162,389	40.0
	そ の 他	176	180	150	83.3	1,264	1,212	1,018	84.0	2,325,152	2,693,122	115.8

資料・平成16,19年商業統計調査
平成21年経済センサス-基礎調査

(3) 大型店出店状況

網走市の大型店の出店状況は次のとおりです。(店舗面積1,000㎡以上)

小売店舗の名称	業態	店舗面積㎡	開店年月	備考
ハウジングサロンあお	専門店	1,154	S48年5月	
ホームック網走店 シティあばしり	スーパー	3,469 2,620	H5年7月 (H10年増築) H12年3月	
フードマスターベーシック 駒場店 ほか	スーパー 専門店	3,465	H15年10月	
つくしヶ丘2丁目複合店舗	専門店	2,109	H16年12月	
フードマスターベーシック 橋北店	スーパー 専門店	1,272	H17年10月	
駒場ショッピングタウン	スーパー 専門店	14,658	H18年12月	
ヤマダ電機 テックランド網走店	専門店	1,495	H23年12月	

(4) 製造業の概況

① 事業所数

製造業における事業所数は、平成23年調査で58件と前年より9件減少しました。業種別では、食料品製造業の占める割合が全体の55.2%となっています。

② 従業者数

従業者数は、平成23年調査で1,281人と前年より152人(10.6%)減少しました。業種別では、食料品製造業に従事する人の割合が全体の76.7%を占めています。

③ 製造品出荷額

製造品出荷額は、平成23年調査で前年より18億4378万円(4.6%)増の421億9496万円となっています。

業種別では、食料品製造業が全体の87.3%と大部分を占めています。

平成23年 製造業事業所数・従業者数・製造品出荷額（従業者数4人以上の事業所）

（単位：事業所・人・万円・%）

業種	区分	事業所数					従業者数					製造品出荷額				
		20年	21年	22年	23年	構成比	20年	21年	22年	23年	構成比	20年	21年	22年	23年	構成比
食料品		41	38	41	32	55.2	1,307	1,304	1,165	982	76.7	3,947,103	3,424,925	3,634,714	3,683,865	87.3
飲料・飼料・たばこ		2	3	3	4	6.9	22	28	29	63	4.9	x	78,764	71,954	144,311	3.4
衣類その他の繊維製品		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木材・木製品		2	2	2	1	1.7	25	24	25	18	1.4	x	x	x	x	—
家具・装備品		2	2	2	2	3.4	10	11	12	12	0.9	x	x	x	x	—
出版・印刷		3	3	3	3	5.2	45	41	39	42	3.3	38,329	34,455	32,425	29,003	0.7
プラスチック製品		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
窯業・土石製品		3	3	3	4	6.9	22	22	17	21	1.6	50,267	51,751	37,382	49,778	1.2
鉄鋼業		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金属製品		7	5	5	4	6.9	57	44	42	36	2.8	75,370	46,031	52,787	59,295	1.4
一般機械器具		2	4	3	2	3.5	9	24	19	17	1.3	x	26,483	20,606	x	—
電気機械器具		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電子部品・デバイス		1	1	1	1	1.7	72	49	62	65	5.1	x	x	x	x	—
輸送用機械器具		4	3	4	5	8.6	26	16	23	25	2.0	x	18,979	18,331	40,797	1.0
その他		—	1	—	—	—	—	5	—	—	—	—	x	—	—	—
計		67	65	67	58	100.0	1,595	1,568	1,433	1,281	100.0	4,446,196	3,865,606	4,035,118	4,219,496	100.0

資料・平成23年工業統計調査

(5) 能取工業団地

能取工業団地は、能取湖に面した自然あふれる環境に位置しています。地理的条件として台風の被害が少なく、地震も少ないので企業の持つ資産を天災によるリスクから回避するには適した団地です。また、農産・水産資源が豊富で食品加工に限らず多種多様な活用ができます。

団地にある公園「レイクサイドパーク・のとり」にはキャンプやパークゴルフ、散策に多くの方々が憩いの場として訪れ、健康増進とレクリエーション施設が整った団地でもあります。

概要

- ・所在地 網走市能取港町（能取漁港）
- ・面積 総面積 66.9ha
分譲済面積 49.5ha
分譲中面積 17.1ha
- ・分譲価格 3,500円/㎡（標準価格）
- ・立地条件
 - (1) 交通 JR…網走駅まで7km、道路…国道238号線まで4km、
空港…女満別空港まで18km、港湾…重要港湾網走港まで9km、
漁港…所在地の能取漁港利用可能（－6m岸壁）
 - (2) 街路 舗装済（幅員16m～22m）
 - (3) 用水 網走市上水道 取水可能量5,000m³/日
 - (4) 排水 網走市共同排水処理施設により排水処理
 - (5) 電力 引込可能電力 高压線 6.6KV
 - (6) インターネット I SDN・光回線「NTT東日本メガデータネッツ」が
利用可能
- ・地域指定等
 - ・水質汚濁防止法・大気汚染防止法・悪臭防止法（B地域）による規制区域
 - ・北海道公害防止条例の適用区域
 - ・自然公園法（第3種特別区域）の適用区域
 - ・網走市環境の保全及び公害の防止に関する条例（保全区域）の適用区域
- ・優遇措置
 - ・条例等にもとづく助成及び融資

(6) 呼人工業団地

緑の森に囲まれた呼人工業団地は、用地面積 10.1ha、自然環境に恵まれ、人と自然との触れ合いがもてる、心豊かなまちづくりをめざす網走ならではの立地条件です。網走市内から 10km、旭川、札幌方面に通じる国道 39 号線の沿線にあり、女満別空港まで 9 km と交通の便にも恵まれています。

工場立地法にもとづく工場適地および農村地域工業導入促進地域として指定を受けており、自然と調和した、たぐいまれな団地として注目されています。平坦地が多く、用水も良質の上水道の取水が可能です。

概 要

- ・所在地 網走市字呼人
- ・面積 総面積 10.1ha
立地・売却済 2.9ha
立地・売却可能 1.9ha (市有地)
- ・分譲価格 約 6,000 円/㎡ (平均価格)
- ・立地条件
 - (1) 交通 JR…呼人駅まで 1.5 km、JR…網走駅まで 9 km
道路…国道 39 号線に隣接、空港…女満別空港まで 9 km
 - (2) 用水 網走市上水道布設済み
 - (3) 排水 網走市公共下水道により排水処理
 - (4) 電力 引込可能電力 高压線 6.6KV
- ・地域指定
 - ・農村地域工業等導入地区

(7) 中小企業振興条例に基づく助成

市内における中小企業の改善発達を図る目的で昭和44年に『網走市中小企業振興条例』を制定し、中小企業の経営の安定および合理化を図り、産業の振興を図ることを目的に次のような助成を行っています。

振興助成の種類	対 象 要 件	助 成 率
組 織 化 助 成	中小企業者等で組織する、中小企業団体で、その設立登記を完了したものの。	1 団体当たり 100,000 円以内 構成員 1 人当たり 1,000 円以内
高度化事業助成	高度化に寄与する事業の施設で取得価格が500万円をこえるもの。	当該施設の固定資産税額に相当する額の100分の80以内（助成期間3年間）
小売商業共同店舗等設置助成	共同店舗およびアーケードを新設し、道高度化資金の貸付を受けていないもの。（中小企業団体：構成員5人以上、共同施設の面積200㎡以上）	当該共同施設の固定資産評価額(1,000万円を越えるものは1,000万円とする)の100分の15に相当する額（5年間で均等に分割、交付する）
従業員福祉施設整備費利子補給	従業員の福祉施設の設置または改善をするために金融機関から借入れた資金のうち500万円以内の額を対象。	年利5.5%を越えるもののうち、年利4%以内 (利子補給の期間は、借入後3年以内)

(8) 中小企業者等人材育成事業

中小企業大学校が開催する研修会、講座等に参加する市内中小企業者等の事業主および従業員に対し、助成制度を設けています。

- ・対象者 市内に主たる事業所を有し、市税を滞納していない、中小企業等の事業主および従業員等
- ・助成額 受講料全額で、1人50,000円を越えない額

※ただし同一年度における同一中小企業に対する助成件数は5件まで

年 度	助成事業所	助成人数	助 成 額	備 考
平成14年度	2	4人	111,000円	
平成15年度	5	7人	172,000円	
平成16年度	6	8人	241,000円	
平成17年度	6	12人	338,000円	
平成18年度	4	6人	138,000円	
平成19年度	6	8人	210,000円	
平成20年度	10	22人	608,600円	
平成21年度	6	24人	782,750円	
平成22年度	11	28人	810,390円	
平成23年度	3	10人	296,100円	
平成24年度	4	8人	231,000円	

(9) 中小企業振興条例による融資状況

年 度	貸 付 件 数	貸 付 金 額 (千円)
平成元年度	98	608,100
平成2年度	112	784,840
平成3年度	84	401,300
平成4年度	80	421,401
平成5年度	55	310,100
平成6年度	43	188,250
平成7年度	47	195,573
平成8年度	97	407,422
平成9年度	93	354,900
平成10年度	84	367,430
平成11年度	98	465,090
平成12年度	102	520,300
平成13年度	108	542,140
平成14年度	125	615,700
平成15年度	121	595,210
平成16年度	117	701,100
平成17年度	108	543,070
平成18年度	149	871,600
平成19年度	113	604,360
平成20年度	147	733,030
平成21年度	168	999,880
平成22年度	159	909,720
平成23年度	158	1,006,044
平成24年度	149	934,790

(件数、金額はその年の新規実行分)

(10) 融 資 制 度

資 金 名	融 資 対 象 者	資 金 使 途	融 資 額
一般資金	市内で同一事業を引き続き1年以上営む次の者 1. 中小企業団体 2. 常時雇用する従業員の数が20人以下の会社又は個人	運 転	1,500万円以内
		設 備	
小口緊急資金	市内で同一事業を引き続き1年以上営み、常時使用する従業員の数が、工業は5人以下、商業・サービス業は2人以下の会社又は個人で、原則として一般資金の借入残高がない者	運 転	100万円以内
店舗改善資金	市内に独立した事業所を有している中小企業者、若しくは新たに独立した事業所を開業しようとしている者であって、物品小売業、理美容業、クリーニング業、飲食店を営む者、若しくは営もうとする者。ただし、風俗営業は除く。	設 備	1,500万円以内 (総事業費の80%以内)
工場等進出資金	中小企業者等であって、市内に進出する製造業及びこれに関連する企業等	設 備	8,000万円以内 (用地取得費、総建築費) ただし中小企業団体及び先端技術応用事業場は1億2,000万円以内
経営安定資金	中小企業者等で、次に該当するもの。 1. 再生手続開始等の事由により、再生手続開始申立等、事業者に対する債権の回収が困難なため、事業の運営に支障をきたしているもの。ただし、北海道中小企業総合振興資金（セーフティネット貸付）の融資対象者を除く。 2. 最近3ヶ月間の売上高が前年度同月比で5%以上減少しているもの 3. 保証債務であって、取引金融機関の支援体制が確保されるもので、経営の危機を克服する見込みのあるもの	運 転	1,000万円以内 ※ただし、 1については、債権額相当以内 3については、保証債務額以内
起業化等資金	次のいずれかの事業のうち、網走市中小企業振興促進審議会が適正と認めた事業を起こす中小企業者。 1. 産学官の共同研究成果を応用した事業 2. 情報関連事業 3. 環境関連事業 4. 福祉関連事業 5. 製造業及び卸・小売業のうち、市内で集積が少ない事業 6. 中心市街地の活性化に資する事業	運 転 設 備	2,000万円以内 うち運転資金は500万円以内 (設備資金は総事業費の80%以内)

(融資制度内容：平成 25 年 4 月現在)

貸付期間	利率	保証料 補給制度	取扱金融機関	※融資状況 (H25.3月末残高)		
				利率	件数	金額(千円)
5年以内(うち据置1年以内)	1.70%	期間内償還分 に係る保証料 を全額補給	北洋銀行 北海道銀行 網走信用金庫 釧路信用組合	1.8~2.5%	235	1,136,158
7年以内(うち据置1年以内)	2.00%					
10年以内(うち据置1年以内)	2.30%			2.1~2.8%	33	109,043
7年以内(うち据置1年以内)	2.00%					
10年以内(うち据置1年以内)	2.30%					
6ヶ月以内	2.30%	期間内償還分 に係る保証料 を全額補給		—	0	0
10年以内 (うち据置1年以内)	2.30%	—		—	0	0
10年以内 (うち据置1年以内)	2.30%	—		—	0	0
5年以内 (うち据置1年以内)	1.10%	期間内償還分 に係る保証料 を全額補給		東日本大震災 関連特別資金 1.3~1.5%	6	36,599
10年以内 (うち据置1年以内)	1.30%					
運転資金 5年以内 (うち据置1年以内)	1.60%	期間内償還分 に係る保証料 を全額補給	1.3~1.8%	9	71,189	
設備資金 10年以内 (うち据置1年以内)	1.80%					

(11) 網走市中小企業振興資金に係る保証料補給制度

事業の概要

網走市中小企業振興資金のうち保証料補給の対象となる資金を利用した市内中小企業者等に対し、予算の範囲内で保証料を補給（補助）します。

補給対象者

網走市中小企業振興資金のうち「一般資金（運転・設備）」「小口緊急資金」「経営安定資金」「東日本大震災関連特別資金」および「起業化等資金」について、北海道信用保証協会の保証を受けて融資を受けた市内中小企業者等であって、平成25年1月1日から同年12月31日までの償還期間内に、融資額の全部又は一部を償還した方。

なお、補給申請時において市税等の滞納がないことを条件とします。

保証料補給額

補給対象者が北海道信用保証協会へ支払った保証料のうち、平成25年1月1日から同年12月31日までの償還額に相当する保証料とする。

なお、繰上償還があった場合は、これにかかる返戻保証料を減じた額とし、代位弁済があった場合は、保証料補給の対象外とします。

(12) 新製品等プロモーション支援事業

事業の目的

網走市内の中小企業者等が製造する新製品等の販売促進に対する課題に対して、テレビコマーシャルを活用した広告宣伝支援を行うことにより、企業や商品に対する認知度、信頼度の向上や販路の拡大を促進し、地域産業の活性化を図ります。

(平成19年度～)

対象者

市の新製品創出支援事業等により開発された新商品等で、既に商品化している市内の中小企業者等のうち、販路開拓や商品ニーズの把握などの課題解決を図ろうとしている方。

事業の内容

市の産業活性化に資すると認められる新製品やサービス等に対し、放送枠を確保することで、コマーシャル等を活用したメディア戦略（パブリシティ・スポットなど）を行います。

当初予算額

(平成25年度) 1,900千円

(13) 事業化等スタートアップ支援事業について

事業の目的及び概要

網走市内の中小企業者等が行う初期段階の研究開発や起業化のアイデア・プランなど新たな展開を図るきっかけづくりを支援することにより、その後の具体的な研究開発・設備投資、起業化へのステップアップに結びつけ、地域経済の活性化と雇用の創出に資することを目的とします。

(平成15年度～)

事業概要

項目	内容
補助対象	中小企業者、中小企業団体、起業化を予定する個人・団体
補助対象事業	①新産業、新分野等の事業化の可能性に対する調査研究事業 ②新製品・新技術開発のための調査研究事業 ③起業化に向けた調査研究事業
補助率	10/10以内(300千円以内)
審査方法	網走市中小企業振興促進審議会において、当該補助申請者が事業内容等のプレゼンテーションを実施し、事業内容に対して審査を行う。
当初予算額	平成25年度(600千円)

(14) 新製品創出支援事業について

事業の目的及び概要

網走市内の中小企業者等が行う新製品開発事業を支援することにより、多様な地域特産品の創出を図り、新産業の創造等、産業の活性化と雇用の創出に資することを目的とします。(平成11年度～)

事業概要

項目	内容
補助対象	中小企業者、中小企業団体、起業化を予定する個人・団体
補助対象事業	①新製品・新技術開発に係る調査・研究事業、人材育成事業、基礎研究・試作研究事業 ②商品化に係る企画開発事業、マーケティング事業
補助率	補助対象経費の2分の1以内 ※補助対象期間 ◆新製品・新技術事業(最大2年) ◆商品化事業(最大1年) ※補助限度額 ◆新製品・新技術事業(2,000千円以内) ◆商品化事業(1,000千円以内) (年度毎)
審査方法	網走市中小企業振興促進審議会において、当該補助申請者が事業内容等のプレゼンテーションを実施し、事業内容に対して審査を行う。
当初予算額	平成25年度(3,000千円)

(15) ものづくりフォローアップ事業について

事業の目的及び概要

これまでに実施した新製品創出支援事業などで開発された製品について、技術面の改善、販路の開拓など新製品の改良・普及を目指し、現状の問題解決のために必要な「フォローアップ」を実施します。(平成18年度～)

事業概要

補助対象	市内の中小企業者及び任意のグループが製造している新製品 (概ね3年以内に発売した新製品)		
対象事業	新製品等市場開拓 促進事業	新製品改良等調査 研究事業	経営支援アドバイザー 派遣事業
対象経費	新製品等を展示会・見本市商談会などへ出展するために必要な経費	新製品等の販売を促進するための製品改良に伴う必要な経費	新製品など、ものづくり・製品に対する技術や流通・営業推進に係るアドバイザーの招聘に必要な経費
補助率	1/2以内		10/10以内
補助限度	250千円以内	500千円以内	謝金・旅費 各100千円以内
当初予算額	平成25年度 (600千円)		

(16) 新製品等市民サポーター制度事業

事業の目的

網走市内の中小企業者等が開発段階及び完成した新製品について、市民サポーターによるモニタリングを実施し、評価及び意見等を反映させ、市民参画による「売れる商品」の開発及び改善等を促進するとともに、新製品等に対する市民への周知及び愛着を醸成させることを目的とします。(平成22年度～)

事業の内容

市民サポーター及び新製品等を募集し、消費者目線での評価及び意見等を聴取するため、試食及び試用会等を実施します。

市民サポーターについて

市民サポーターは20名で構成(各種団体推薦10名、市民公募10名)

当初予算額

(平成25年度)50千円

(17) 網走市商店街空き店舗活用事業補助制度

中心市街地商店街における空き店舗を活用して、商店街の魅力向上に必要な業種の立ち上げを目指す新規開業予定者等に対し、経費の一部を助成します。(平成17年度～)

制度の内容

補助金名	家賃補助金	店舗改修費補助金
対象経費	店舗賃借料	店舗改修費用
補助率等	開業後1年間の店舗賃借料の1/2以内	開業に伴う店舗改修に要した経費の1/2以内(ただし、施工業者は市内業者とする。)
補助限度額	月額100千円以内	1,000千円以内
当初予算額	平成25年度(3,000千円)	

対象となる店舗

補助の対象とする空き店舗は、概ねアプト4商店街区域にある店舗で、市長が指定したもの

対象となる人

空き店舗の賃貸借契約が1年以上の見込みがあり、1年以上継続して営業する見込みのある方

対象となる業種【次の業種で市長が認めたもの】

- ・小売業
- ・飲食業(主に酒類の提供を目的とするものは除きます。)
- ・サービス業

(18) 網走市起業化支援事業補助制度

網走市内において、新たに事業を起こそうとする個人又は小規模企業者(新規開業者等)に対し、市内での店舗開業に要する経費の一部を助成します。(平成25年度～)

補助対象経費等

対象経費	開業に伴う店舗の取得及び改修に要した費用(ただし、土地及び設備の取得費を除く。)
補助率等	対象経費の1/2以内(ただし、施工業者は市内業者とする。)
補助限度額	500千円以内
当初予算額	平成25年度(3,000千円)

対象となる店舗

市内において、新たに取得又は賃借される店舗で土地に定着した建造物。

ただし、網走市商店街空き店舗活用事業の対象区域内の店舗は除く。

対象となる人

対象となる店舗において開業する新規開業者等で、次の要件を満たすもの。

- ・網走市内に住民登録がある個人又は本店若しくは主たる事務所を置く法人。
- ・1年以上継続して営業する見込みがあること。
- ・市税を滞納していないもの。

対象となる業種

- ・小売業
- ・飲食業(主に酒類の提供を目的とするものは除きます。)

(19) 物産事業の概要

目 的

網走市及び近郊の生産加工業者、生産加工品を取扱う卸売業者等により「網走市物産協会」を設立し、物産の紹介宣伝、販路の拡張と商圈の確立強化を図り、本市産業の振興に寄与することを目的とします。

会員数（平成 25 年 5 月現在）

1. 普通会員 33（水産加工 16、農産加工 5、酒類製造販売 1、菓子製造 4、菓子卸売 1、弁当小売 2、土産品販売 1、その他 3）
2. 特別会員 8（関係機関団体）

事業内容

1. 物産の紹介宣伝と取引の斡旋
2. 物産展、各種イベント等への参加出店
3. その他必要な事業

平成 25 年度 北海道の物産と観光展会場一覧（網走市主催会場分）

百貨店名	開催地
(株) 東武百貨店池袋店	東京都
(株) 浜屋百貨店	長崎市
(株) 宮崎山形屋	宮崎市
(株) 山形屋	鹿児島市

(20) 網走市企業立地促進条例

網走市では、多様な産業の立地を促進するため、市内に事業所を新設し、又は増設する事業者に対し、助成の措置を行うことにより、産業の振興及び雇用機会の創出を図ります。（平成19年度～）

対象施設、対象業種、対象要件、助成内容等は下表のとおりです。

種別	区分	対象施設	対象業種	対象要件	助成内容	
					補助金額	限度額
事業場の新増設に係る投資額を基準とする助成	1号	工場	●情報通信技術関連製造業(28業種) ●先端技術産業 ●研究開発型の機械工業・医薬品工業	投資額 2,500万円以上 雇用増 5人以上	投資額の 新設 2.5% 増設 2.5%	3,000万円
	2号	国際物流関連施設	●国際物流関連業 [外国貨物に限る]			
	3号	工場	●製造業 (塗装材料、セメント 骨材、石工芸等及び武器 製造業を除く) ●リサイクル工場	投資額 2,500万円以上 雇用増 5人以上	投資額の 新設 2% 増設 2%	
	4号	工場	●基盤的技術産業	投資額 2,500万円以上 雇用増 5人以上	投資額の 新設 2.5% 増設 2.5%	
	5号	特定事業所等	●産業支援サービス業 (12業種・事業) ①ソフトウェア業 ②情報処理サービス業 ③情報提供サービス業 ④機械修理業 ⑤電気機械器具修理業 ⑥機械設計業 ⑦デザイン業 ⑧システムインテグレーション事業 ⑨ASP事業 ⑩データセンター事業 ⑪デジタルコンテンツ事業 ⑫ハイオテクノロジー利用産業	投資額 2,500万円以上 雇用増 5人以上	投資額の 新設 2.5% 増設 2.5%	
			●産業支援サービス業(1事業) ①コールセンター事業	投資額 2,500万円以上 雇用増 15人以上		
	6号	試験研究施設	●自然科学系の試験研究施設 (テストコースを除く)	投資額 2,500万円以上 雇用増 5人以上	投資額の 新設 5% 増設 5%	
	7号	再生可能エネルギー電気供給施設	●再生可能エネルギー電気供給業	投資額 5億円以上 雇用増 1人以上	投資額の 新設 2.5% 増設 2.5%	
8号	物流施設	●物流業 ①道路貨物業 ②海運貨物業 ③倉庫業 ④卸売業	投資額 2,500万円以上 雇用増 5人以上 ※網走港新港地区又は能取工業団地に限る。	投資額の 新設 2% 増設 2%		
基準と資産増産を助成	9号	1号から6号まで及び8号の対象施設に係る土地、家屋及び償却資産	1号から6号まで及び8号の対象業種	1号から6号まで及び8号の対象要件をそれぞれ満たしている場合	対象施設に係る土地、家屋及び償却資産の固定資産税相当額 助成期間3年間	3,000万円/年
と雇用増を助成	10号	1号から7号までの対象施設	1号から8号までの対象業種	1号から8号の対象要件をそれぞれ満たしている場合 ※コールセンター事業を除く	常時雇用する従業員数に1人当り30万円を乗じて得た額	3,000万円
設置に係る助成	11号	コールセンター	コールセンター事業	投資額 2,500万円以上 雇用増 15人以上	常時雇用する従業員数に1人当り30万円を乗じて得た額	3,000万円 年間合計 500万円
					施設の賃借料の1/2 通信回線使用料の1/2 助成期間3年間	

(21) 企業立地状況

(平成 25 年 4 月現在)

企 業 名	所 在 地	立 地 年 月	業 種 ・ 営 業 内 容
金 印 わ さ び (株) オ ホ ー ツ ク 工 場	網走市字呼人 276 番地 1	昭和 4 3 年 9 月	香辛料の製造
日 本 ホ ワ イ ト フ ェ ー ム (株)	網走市字藻琴 230 番地の 4	昭和 61 年 1 月	食肉、ファーム&ブ ロイラー育成処理 加工
(株) カ ナ モ ト	網走市字三眺 12 番地の 6	昭和 63 年	機械等、リース業
日 産 デ ィ ー ゼ ル 道 東 販 売 (株)	網走市字藻琴 35 番地の 69	平成元年	自動車販売修理
N G K オ ホ ー ツ ク (株)	網走市字呼人 534 番地の 2	平成 2 年 10 月	電子部品、磁気ディ スク装置用ヘッド
佐 川 急 便 (株) 網 走 営 業 所	網走市港町 4 番地の 96	平成 12 年 7 月	運送業
(株) デ ン ソ ー 網 走 テ ス ト セ ン タ ー	網走市字嘉多山 708 番地	平成 13 年 11 月	テストコース
ト ー ホ ー 工 業 (株)	網走市能取港町 3 丁目 1 番 地の 3	平成 14 年 9 月	プラスチック発泡 製品
(株) ア ク テ ィ オ 網 走 営 業 所	網走市港町 4 番地の 114	平成 17 年 4 月	建設機械レンタ ル・販売
(株) C T I 情 報 セ ン タ ー オ ホ ー ツ ク コ ー ル セ ン タ ー	網走市新町 2 丁目 7-11	平成 22 年 3 月	コールセンター

劳

政

3. 労 政

(1) 労働行政の概要

① 労働事情の調査

○網走市労働実態調査

市内に所在する従業員5人以上の事務所を対象に労働者の労働条件について調査を行い、労働行政の基礎資料とします。(隔年実施)

○網走市女性労働実態調査

市内に居住する18歳から65歳までの女性2,000人を対象として調査を行い、女性労働対策の基礎資料とします。(隔年実施)

○学卒者(見込み者)の進路状況調査

4月30日現在の前年度卒業者の進路状況の調査を行い、若年労働者雇用対策及び職場定着指導等の基礎資料とします。

② 季節労働者対策

○季節労働者冬期就労対策事業

季節労働者の冬期における就労の場を確保し、通年雇用化を促進し、かつ生活の安定を図るために冬期就労対策事業を実施します。

③ 勤労者に対する融資制度

○季節労働者生活資金貸付制度

季節労働者の生活安定を図るために貸付を行います。

貸付限度額 20万円

返済期間 5～12月

取扱金融機関 北海道労働金庫網走支店

○中小企業勤労者生活資金貸付制度

中小企業に働く労働者の生活安定を図るために貸付を行います。

貸付限度額 50万円

返済期間 60ヶ月以内

取扱金融機関 北海道労働金庫網走支店

④ 技能功労者表彰

技能尊重の気運を醸成し技能者の社会的、経済的地位の向上を図るとともに地域産業の振興を図ることを目的とします。

毎年11月予定(平成24年実績 11月22日 1名表彰)

⑤ 優良勤労青年表彰

若年労働力の確保と定着を促進するとともに技能尊重気運を醸成し、もって地域産業の振興と雇用の安定を図り、併せて勤労青年の健全な育成に寄与することを目的とします。

毎年7月予定(平成24年実績 7月30日 6名表彰)

- ⑥ 網走市勤労青少年ホーム
勤労青少年が余暇を有意義に過ごし、体力づくり、レクリエーション、話し合いなどを通じて豊かな人間性の高揚を図ることを目的に運営されています。
- ⑦ 網走市勤労者総合福祉センター（愛称 ソレイユ網走）
働く人たちや、市民のみなさんが、いつでも気軽に余暇活動やライフワークに利用していただくことを目的に運営されています。
- ⑧ 公益社団法人網走市シルバー人材センター
「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づく高年齢者（60才以上）の臨時的、短期的な就業の機会の確保及び提供を行い、福祉の増進を図ることを目的に運営されています。
- ⑨ 網走市勤労者共済会
市内の事業所に働く従業員と事業主を対象に、相互扶助の精神に基づいて、個々の事業所では実施が容易ではない福利厚生制度を促進し、勤労者の福祉の向上と企業の発展を目的に運営されています。
（平成 25 年 3 月末現在加入事業所数 146 事業所 会員数 835 名）
- ⑩ 網走市能力開発センター
技能労働者の方々が職業訓練を行うことにより、地域の産業を担う技能労働者を養成し、職業の安定と労働者の地位向上、地域経済の発展を目的に運営されています。

(2) 中学・高校卒業者の進路状況(平成25年4月30日現在)

① 平成25年3月の中学校卒業者は、市内6校で341名であり、そのうち高校・各種専門学校等への進学者(高等技術専門学院含む)は、338名、99.1%であります。

② 高校の卒業者は、市内2校で344名であり、大学等への進学者は256人、74.4%であります。

就職者については、76名(22.1%)という状況であり、そのうち43名(56.6%)が市内へ就職し、高校卒業者の半数以上の方が地元志向の状況にあります。

平成25年3月 卒業者の進路状況

(平成25年4月30日現在)

区 分	総 数			中 学			高 校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
(A) 卒業者総数	352	333	685	190	151	341	162	182	344
(B) 進 学 者 (比 率 %)	304	290	594 (86.7)	188	150	338 (99.1)	116	140	256 (74.4)
(C) 就 職 者 (比 率 %)	40	37	77 (11.3)	1		1 (0.3)	39	37	76 (22.1)
(D)その他 (予備校含む) (比 率 %)	8	6	14 (2.0)	1	1	2 (0.6)	7	5	12 (3.5)

(3) 網走市シルバー人材センターの概要

① シルバー人材センターとは

定年退職後などで通常の職業生活を引退したが、今までの職業経験、社会経験や技能、能力をいかした「仕事」を通じて社会参加を希望する、健康で働く意欲のある高齢者を会員として、「地域社会の日常生活に関連した臨時的、短期的な仕事」を行う高齢者の自主的な団体をシルバー人材センターと言います。

② 現 況

(1) 会員の状況

(平成25年3月末現在)

年 齢 区 分	会員数(人)			市の人口(人)			加入率	摘 要
	男	女	計	男	女	計		
60才未満	0	0	0	-	-	-		
60～64	49	19	68	1,559	1,796	3,355	2.0	
65～69	79	31	110	1,231	1,395	2,626	4.2	
70～74	82	28	110	1,016	1,239	2,255	4.9	
75才以上	57	13	70	1,915	3,007	4,922	1.4	
計	267	91	358	5,721	7,437	13,158	2.7	

※ 60才以上人口は、13,158人で人口比34.7%を占めています。

※ 60才以上の加入者は、358人で加入率2.7%となっています。

③ 仕事の内容

(1) 年間受注件数 3,042 件(平成24年度実績)

(2) 仕事(職群)

	軽作業	事務	技能	管理	外交	サービス	計
件数	1,917	203	456	223	2	241	3,042
比率	63.0%	6.7%	15.0%	7.3%	0.1%	7.9%	

④ 就業日数(年間)

・延日数 44,863 日 ・ 1人当たり 125.3 日 ・ 月 10.4 日

⑤ 収 入(年間)

・149,277 千円(1人当たり平均 417 千円)

⑥ そ の 他

当市のシルバー人材センターは、平成元年に網走市高齢者生きがいセンターとして設立され、平成2年に社団法人網走市シルバー人材センターとなり、さらに平成4年には、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」に規定する団体として北海道知事の指定を受け、高齢者の能力に応じた就業機会の提供を行なっています。平成24年に公益社団法人へ移行し、就業機会の拡充を関係機関と連携をとりながら積極的に推進しています。

(4) 網走市季節労働者生活資金貸付制度

区 分	内 容	摘 要
趣 旨	市内に居住する季節労働者の生活の安定を図るため	
貸付の対象	1. 市内に居住する季節労働者 2. 生計を維持している世帯主 3. 扶養家族を有する者 4. 特例一時金受給者 5. 市税を滞納していない者	
貸付金の使途	生 活 資 金	申込受理(毎年度) 12月25日～3月15日
貸付限度額	200,000円	
貸付利率	年利 1.0% (別途保証利率加算)	25年4月現在
返済方法	月割均等償還 5月から12月までの8ヶ月間	
信用保証	北海道勤労者信用基金協会	
申込手続	北海道労働金庫網走支店	
そ の 他	労働金庫の定めるところによる	

(5) 網走市中小企業勤労者生活資金貸付制度

区 分	内 容	摘 要
趣 旨	市内に居住する中小企業に勤務する勤労者の生活の安定を図るため	
貸付の対象	1. 市内に居住する勤労者 2. 現在の職場に1年以上在職し、今後も引き続きその職に従事する者 3. 市税を滞納していない者	
貸付金の使途	1. 子弟の教育資金 2. 疾病の療養費 3. 冠婚葬祭費 4. その他生活の安定資金	
貸付限度額	500,000円	
貸付利率	年利 1.0% (別途保証利率加算)	25年4月現在
返済方法	月割均等償還 貸付期間 60ヶ月以内	
信用保証	北海道勤労者信用基金協会	
申込手続	北海道労働金庫網走支店	
そ の 他	労働金庫の定めるところによる	

(6) 網走市の労働福祉施設

<p>網走市勤労青少年ホーム (建設 昭和50年4月) 桂町2丁目</p>	<p>構造規模 鉄筋コンクリート 664 m² 施設内容 会議室、音楽室、軽体育室 管理運営 網走市経済部商工労働課</p>
<p>網走市能力開発センター (建設 平成元年11月) 大曲1丁目</p>	<p>構造規模 鉄筋コンクリート2階建 905.18 m² 施設内容 事業内職業訓練施設(科目 木造建築科、建築塗装科、左官・タイル施工科、建築板金科、電気工事科、配管科、鉄筋コンクリート施工科、サッシ・ガラス施工科) 指定管理者 職業訓練法人網走職業訓練協会</p>
<p>網走市勤労者総合福祉センター 「ソレイユ網走」 (建設 平成4年9月) 桂町2丁目</p>	<p>構造規模 鉄筋コンクリート2階建1部鉄骨造 1,231.35 m² 施設内容 体育室、研修室、和室、情報コーナー等 指定管理者 公益社団法人網走市シルバー人材センター</p>

觀

光

4. 観 光

(1) 観光客入込み数及び宿泊、日帰り客概況

① 観光客入込み数

平成 24 年度の観光客入込数は、約 1,367.7 千人で対前年比 107%となり、前年入込数を約 94.5 千人上回る結果となった。また、宿泊数は 362 千人となり対前年比 105%となり、前年を 18.6 千人上回る結果となった。

東日本大震災以前の平成 22 年度と比較すると、観光客入込数及び宿泊数ともに、対平成 22 年度比 102%と、東日本大震災以前の数値に戻った状況となっている。

この要因は、国内外の観光客において、東日本大震災による風評被害による日本国内の旅行控えが解消されたことが根底にあると考えられる。

ゴールデンウィークの曜日の並びがよかったことや、各種イベントが天候に恵まれたことに加え、航空機材が大型化されたことや、夏季のスポーツ合宿も堅調に推移したことから好調に推移した。

また、冬季観光の中心である流氷が、例年と比べて長期間に渡りオホーツク海沿岸に留まったこと（流氷初日：1月12日、流氷終日：4月2日）から、集客効果が高まった。そのような状況のもと、湖畔地区の宿泊施設においては、震災から回復していた前年とほぼ同程度の入込数、宿泊数であり、市内宿泊施設においては、公共工事等によるビジネス客の増加や映画撮影によるスタッフの長期滞在、さらには外国人を含めた観光客の増加等により好調に推移し、全体としては、観光客入込数は対前年比 103%、宿泊数は対前年比 105%と増加した。

観光施設の入込については、オホーツク流氷館が 128.0 千人で、対前年比 116%、博物館網走監獄は 195.9 千人で、対前年比 104%と前年を上回った。流氷観光砕氷船おーろらの乗船客数については、流氷帯に長期にわたり到達することが出来たが、土日祝日が荒天の日が多かったため 93.0 千人で対前年比 99%となっている。

外国人観光客の宿泊数については、台湾、香港が震災以前の水準まで回復している状況となっているが、中国、韓国が領土問題で宿泊数は低迷しているため、全体の宿泊数は 19.2 千人で対前年比 136%となっている。

(単位：人)

年度 月	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
4月	45,700	38,200	36,800	36,400	46,200
5月	91,200	82,000	84,500	72,600	88,500
6月	95,000	86,400	95,700	87,900	102,500
7月	119,400	107,900	127,900	101,400	127,400
8月	229,400	218,200	255,100	218,600	226,700
9月	119,700	121,400	114,100	113,400	112,400
10月	105,100	88,800	113,800	84,200	97,800
11月	67,700	66,900	62,500	58,500	65,200
12月	46,600	49,600	52,000	53,400	51,200
1月	111,300	93,600	96,700	123,500	110,800
2月	207,900	211,800	216,800	194,400	210,500
3月	132,400	118,500	80,500	128,900	128,500
合 計	1,371,400	1,283,300	1,336,400	1,273,200	1,367,700

② 宿 泊 数

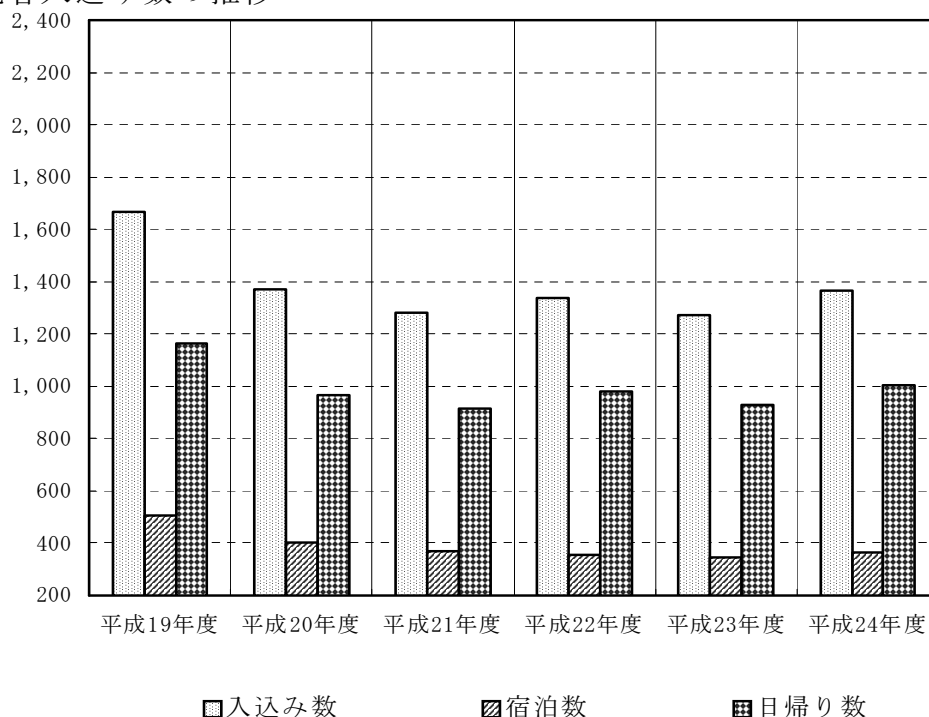
年度 月	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
4月	18,193	15,831	14,415	13,268	15,589
5月	36,456	31,608	31,599	25,502	27,825
6月	35,963	29,931	29,993	27,897	33,400
7月	45,026	40,215	44,166	36,404	41,693
8月	58,307	52,133	53,836	52,139	52,485
9月	47,919	46,122	41,607	41,461	37,321
10月	40,043	32,682	33,560	29,397	32,050
11月	23,153	20,546	18,749	19,078	21,023
12月	20,630	19,342	16,448	20,407	18,856
1月	23,428	21,985	20,701	23,708	22,336
2月	31,503	34,839	34,438	32,450	37,062
3月	22,858	23,153	16,039	22,245	23,013
合 計	403,479	368,387	355,551	343,956	362,653

③ 日 帰 り 数

年度 月	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
4月	27,500	22,300	22,400	23,100	30,600
5月	54,700	50,400	52,800	47,000	60,700
6月	59,000	56,500	65,800	60,000	69,100
7月	74,300	67,600	83,700	65,000	85,700
8月	171,200	166,000	201,300	166,500	174,300
9月	71,800	75,300	72,500	72,000	75,100
10月	65,000	56,200	80,200	54,800	65,700
11月	44,600	46,400	43,800	39,400	44,100
12月	25,900	30,200	35,600	33,000	32,300
1月	87,900	71,600	76,000	99,800	88,500
2月	176,400	177,000	182,300	162,000	173,400
3月	109,600	95,400	64,400	106,700	105,500
合 計	967,900	914,900	980,800	929,300	1,005,000

④観光客入込み数の推移

単位 [千人]



⑤季節別観光客入込み数

季節 \ 年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
春 (4~5月)	136,900 (10.0%)	120,200 (9.4%)	121,300 (9.1%)	109,000 (8.6%)	134,700 (9.8%)
夏 (6~9月)	563,500 (41.1%)	533,900 (41.6%)	592,800 (44.4%)	521,300 (40.9%)	569,000 (41.6%)
秋 (10~11月)	172,800 (12.6%)	155,800 (12.1%)	176,300 (13.2%)	142,700 (11.2%)	163,000 (11.9%)
冬 (12~3月)	498,200 (36.3%)	473,500 (36.9%)	446,000 (33.4%)	500,200 (39.3%)	501,000 (36.6%)
合計	1,371,400 (82.2%)	1,283,300 (93.6%)	1,336,400 (104.1%)	1,273,200 (95.3%)	1,367,700 (107.4%)

※各季の下段は構成比

※合計内の下段は前年対比指数

⑥ 季節別宿泊数

季節 \ 年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
春 (4~5月)	54,649 (13.5%)	47,439 (12.9%)	46,014 (12.9%)	38,770 (11.3%)	43,414 (12.0%)
夏 (6~9月)	187,215 (46.4%)	168,401 (45.7%)	169,602 (47.7%)	157,901 (45.9%)	164,899 (45.5%)
秋 (10~11月)	63,196 (15.7%)	53,228 (14.4%)	52,309 (14.7%)	48,475 (14.1%)	53,073 (14.6%)
冬 (12~3月)	98,419 (24.4%)	99,319 (27.0%)	87,626 (24.6%)	98,810 (28.7%)	101,267 (27.9%)
合 計	403,479 (80.0%)	368,387 (91.3%)	355,551 (96.5%)	343,956 (96.7%)	362,653 (105.4%)

※各季の下段は構成比

※合計内の下段は前年対比指数

(2) 観光・文化・レジャー施設入場者概況

施設 \ 年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
オホーツク流氷館	177,447	157,021	133,658	110,135	128,062
博物館網走監獄	275,496	249,693	224,859	187,772	195,904
郷土博物館	4,006	3,876	4,645	4,761	4,078
モヨロ貝塚	3,364	2,868	4,118	587	0
美術館	8,544	7,715	9,066	8,277	7,844
北方民族博物館	25,507	24,326	24,285	21,771	20,731
流氷観光砕氷船 おーろら	79,574	85,291	85,624	93,984	93,050

※モヨロ貝塚は平成23年6月から平成25年4月30日まで改築の為閉館。

(3) 自然公園利用概況（期間：1月～12月）

園地	年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
呼人浦		384,603	359,371	345,763	332,836	359,187
天都山		249,649	218,446	204,929	170,088	186,798
能取岬		45,871	39,946	36,727	30,139	32,076
二ツ岩		14,770	18,222	15,497	2,154	362
卯原内		201,063	190,695	192,261	11,973	60,895
白鳥公園		49,565	33,055	30,402	9,424	17,901
合計		945,521	859,735	825,579	556,614	657,219

(4) 行催事別入込み概況

イベント名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
あばしりオホーツク流氷まつり		78,500	85,000	54,000	72,000	75,000
あばしりオホーツク夏まつり		152,000	147,000	152,000	46,000	55,400
天都山さくらまつり		4,000	10,000	6,000	6,000	1,500
オロチョンの火祭り		300	1,500	1,500	300	300
さんご草まつり		20,000	32,000	15,000	10,000	5,000
北の新大陸発見！あったか網走		18,000	17,000	18,000	16,700	17,200
網走感動朝市		15,668	13,777	10,801	8,425	9,350
網走モヨロの夜祭り		11,950	6,540	5,180	-	-
あばしり道の駅夕市まつり		-	8,500	16,200	19,000	18,000
あばしり七福神まつり		30,000	33,000	35,000	30,000	37,000
網走一番！秋祭り		12,000	10,000	8,000	15,000	-
網走一番！夏祭り		-	-	-	-	12,000

※網走一番！秋祭りは平成24年度より網走一番！夏祭りとなった。

(5) 観光産業消費額概況

1. 観光消費額

(単位：千円)

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
観光消費額	10,641,308	9,834,059	9,859,624	9,461,510	10,073,941
内訳					
宿泊客支出	6,993,098	6,384,883	6,162,410	5,961,445	6,285,502
日帰り客支出	3,648,210	3,449,175	3,697,215	3,500,065	3,788,439

[平成19年度からは平成18年度網走市観光経済調査の基準額を参考に算出]

宿泊客観光消費額（一人あたり） 17,332円

日帰り客観光消費額（一人あたり） 6,446円

観光消費額＝延宿泊数×17,332円+延日帰り入込数÷1.71（立寄係数）×6,446円

(6) 行催事状況

行催事名	期日	場 所	内 容	問 合 先
フラワーガーデン 「はな・てんと」	H25年 6月14日 ～ 10月31日 (見頃8月下旬 ～10月上旬)	天都山 網走レーク ビュー スキー場 山頂ロッジ 付近	3.5haの斜面いっぱい、約8万株もの花々が咲き乱れます。見頃の時期には赤のサルビアを中心とした色とりどりの花々が、素敵な花園を作り出します。	網走市観光部 観光課観光振興係 (0152)44-6111
網走感動朝市	H25年 7月13日～28日 8月23日～ 9月29日 毎週金土日・祝 8月2日～18日 毎日	網走商港 漁港区	網走で穫れる新鮮な海の幸・山の幸を市民及び観光客に提供します。時期は夏から秋にかけてロングランで実施され、6時半より開始されます。また、とりたての海産物を使った朝食も賞味できます。	網走感動朝市 実行委員会 (0152)43-7670 (0152)44-5525
あばしり オホーツク 夏まつり	H25年 7月25日 ～ 7月28日	網走4条通 商店街区	原生花園の砂丘が花におおわれる頃、真夏の夜空に打上げられる花火。3,000人以上の市民が繰り出して流氷おどりや流氷おどりニューバージョンが行われ、短いオホーツクの夏を楽しむイベントです。	網走商工会議所 (0152)43-3031
オロチョンの 火 祭 り	H25年 7月29日	道の駅 流氷街道 網走	北方系民族の儀式や風俗を取り入れた網走だけのユニークな創作行事。かがり火を焚きながら先住の北方民族の魂を慰め豊穡を願うシャーマンと民族衣装で踊る人々が繰り広げるエキゾチックなイベント。	網走市観光協会 (0152)44-5849
あばしり 道の駅 夕市まつり	H25年 7月27日 ～ 7月31日	道の駅 流氷街道 網走	道の駅及びその駐車場を利用して地元の農水産物の販売や炭火焼、さらにはビアガーデンが開催されます。また、併せて毎日、日替わりで地元グループのコンサートやパフォーマンスが行われます。	網走市観光協会 (0152)44-5849
あばしり 七福神まつり	H25年 9月7日 ～ 9月8日	網走4条通 (アプト4)	その昔、網走の風物詩であった七福神めぐりと網走地方の代表的な地域産物の実りを喜ぶ祭り。各種アトラクションや名物「七福神宝船」の運行のほか、会場には全国の味覚店や地域産物の屋台が立ち並び、人々は賑わいを見せます。	網走中央商店街 振興組合 (0152)44-5546

行 催 事 名	期 日	場 所	内 容	問 合 先
さんご草まつり	H25年 9月21日 ～ 9月22日	卯原内 能取湖畔	能取湖の湖畔にひろがるサンゴ草が赤くに色づく季節に、青空の下で深まりゆく秋の風情と味覚を楽しむお祭りです。能取湖でとれたばかりのホタテなどオホーツクの幸の香りが香ばしく会場にたちこめます。	卯原内観光協会 (0152)47-2301
北の新大陸発見！ あったか網走	H26年 1月25日 ～ 3月2日	網走湖 呼人浦 キャンプ場	冬期ロングラン体験イベントとして、網走湖畔で開催。 昼の部はスノーモビル、四輪バギー、氷上バナナボート、氷のすべり台等を体験できます。 夜の部は、結氷した網走湖上に設置されている灯りにより幻想的な世界を演出。熱気球が体験できるメニューも大人気。 会期中、数日間花火大会なども実施されます。	網走市観光部 観光課観光振興係 (0152)44-6111
オホーツク 屋台村	H26年 2月8日 ～ 2月10日	網走4条通 (アプト4)	網走4条通の一部を歩行者天国にし、各種屋台が温かい食べ物や飲み物などを格安提供。会場内では炭火焼台を設置し、地元の新鮮な魚介類、牛肉や焼き鳥など美味しい食材をその場で焼いて食べられる屋外イベントです。	オホーツク屋台村 実行委員会 (0152)43-1146
あばしり オホーツク 流氷まつり	H26年 2月8日 ～ 2月11日	網走商港	虹色の光を浴びて夜空に浮き立つ雪と氷の造形のほか、大雪像前メインステージでの歌謡ショー、キャラクターショーなどのイベントや物産館や味覚館など網走人の情熱と友情と幻想が交錯するホットなイベントです。	網走市観光部 観光課観光振興係 (0152)44-6111

(7) 観光・文化・レジャー施設

施設名	開設年月	施設の概要
オホーツク流氷館 天都山	昭和55年5月 昭和60年4月 増設	建物 2,213 m ² 施設 流氷体験室、 ハイビジョンシアター、展望台等
博物館 網走監獄 呼人1-1	昭和58年7月	敷地 17ha 施設 五翼放射状平屋舎房、教誨堂、庁舎 二見ヶ岡農場、監獄歴史館等
北海道立北方民族博物館 潮見313-1	平成3年2月	建物 3292,06 m ² 施設 常設展示室、特別展示室、講堂、 情報普及室等
網走市立郷土博物館 桂町1丁目	昭和11年11月	建物 886 m ² 施設 陳列室、資料保管室、図書室
網走市立美術館 南6西1	昭和47年8月	建物 915.648 m ² 施設 第1・2・3・4展示室等
流氷観光砕氷船「おーろら」	平成3年1月 就航	全長 45.0m、幅 10.0m、総トン数 491トン 最大砕氷能力 約80cm、最大旅客定員 450名
流氷観光砕氷船「おーろら2」	平成7年1月 就航	全長 45.0m、幅 10.0m、総トン数 489トン 最大砕氷能力 約80cm、最大旅客定員 450名
オートキャンプ場 てんとらんど	平成6年6月	敷地 107.5ha 施設 ロッジ17棟、カーサイト28、 フリーテントサイト22
レイクサイドパークのとろ	平成14年6月	敷地 8.1ha 施設 フリーテントサイト30、コテージ3棟 パオ2棟、炊事棟2棟、イベント広場 パークゴルフ場36ホール
呼人浦キャンプ場	平成2年	敷地 2.58ha 施設 フリーテントサイト 炊事棟
エコーセンター2000 (オホーツク・文化交流センター)	平成12年11月	敷地 8,274 m ² 施設 エコーホール、展示室、会議室、 視聴覚室等
道の駅「流氷街道網走」	平成21年1月	敷地 1.2ha 施設 観光案内所、地元特産品販売コーナー 休憩・飲食コーナー 流氷観光砕氷船「おーろら」発着場等
濤沸湖水鳥・湿地センター	平成24年5月	敷地 6,092.42 m ² 施設 展示室、レクチャー室、ボランティア 室、資料展示室、調査研究室、ライブ ラリーコーナー、インフォメーション カウンター
モヨロ貝塚館	平成25年5月	建物 68,141 m ² 施設 常設展示室、貝塚展復元展示室、貝塚 展示室、墓域展示室